

埋文やまがた



1995年8月1日

第2号



天童北部小学校6年生遺跡学習会、天童市渡戸遺跡にて

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURE ARCHAEOLOGY CENTER

〒999-31 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 0236-72-5301(代) FAX 0236-72-5586

平成7年度の事業概要

1. 埋蔵文化財の発掘調査

発掘調査は建設省・日本道路公団・山形県・山形県教育委員会から委託を受け、高速道路建設や県営ほ場整備などに先だって実施します。今年度は21遺跡、面積にして137,002平方mの調査が予定されています。

市町村	遺跡名	時代区分	種別	調査面積 ：平方m	現地調査期間	
					開始	終了
1 遊佐町	北目長田遺跡・櫓待遺跡	平安	集落跡	9,420	5/8～8/11	
2 〃	宮ノ下遺跡	〃	〃	10,150	5/8～9/13	
3 酒田市	向田遺跡	〃	〃	3,500	5/8～7/6	
4 〃	土崎遺跡	〃	〃	1,050	7/10～8/1	
5 〃	梵天塚遺跡	平安・中世	〃	3,500	7/24～10/20	
6 〃	中谷地遺跡	〃	〃	3,500	10/16～12/8	
7 鶴岡市	西谷地遺跡	〃	〃	14,200	5/8～9/14	
8 村山市	落合遺跡	縄紋	〃	382	10/2～11/22	
9 天童市	渡戸遺跡	〃	〃	1,500	5/8～8/11	
10 〃	上荒谷遺跡	〃	〃	1,700	5/8～6/30	
11 西川町	陸合館跡	中世	城館跡	(9,400)	測量調査	
12 寒河江市	三条遺跡	縄紋～平安	集落跡	9,000	6/26～9/21	
13 〃	高瀬山遺跡	旧石器～奈良	〃	17,150	5/8～12/1	
14 〃	落衣長者屋敷遺跡	平安	〃	11,000	5/8～10/13	
15 〃	高松II遺跡	縄紋・平安	〃	6,000	8/7～12/6	
16 〃	高松III遺跡	平安	〃	1,000	7/10～8/4	
17 〃	平野山古窯跡12地点	縄紋～平安	〃	6,000	7/31～12/1	
18 〃	富山遺跡	旧石器	包蔵地	2,450	5/8～7/20	
19 山形市	下柳A遺跡	古墳	集落跡	5,000	4/24～8/11	
20 米沢市	荒川2遺跡	奈良	〃	7,200	7/17～11/15	
21 小国町	野向遺跡・市野々向原遺跡	縄紋	包蔵地	3,300	9/18～11/2	

2. 整理・報告書作成作業

発掘調査の成果を報告書にまとめ、保存と活用及び保護思想の普及に役立てます。

整理・報告書作成作業は4月から来年3月までかけておこなわれます。

市町村	遺跡名	時代区分	種別	事業内容	
1 鶴岡市	塔の腰遺跡	平安・中世	集落跡	報告書作成	(8年度刊行)
2 〃	後田遺跡	平安	〃	〃	(〃)
3 〃	大道下遺跡	〃	〃	〃	(〃)
4 朝日村	野新田遺跡	縄紋	〃	〃	(〃)
5 西川町	山居遺跡	〃	〃	基礎整理	(9年度刊行)
6 〃	水沢館跡	中世	城館跡	報告書作成	(8年度刊行)
7 〃	横岫橋跡	近世	〃	〃	(〃)
8 寒河江市	富沢I遺跡	縄紋	集落跡	報告書刊行	

3. 研究・普及事業

埋蔵文化財保護に関する研究と保護思想の普及を目的とした活動をおこなっています。

■調査説明会

発掘調査している遺跡で説明会を開催します。また調査説明資料を刊行して配布します。

■出土文化財の保管と活用

出土文化財及び調査記録写真の展示会等への貸出をおこなっています。

■情報資料の収集活用

遺跡データベースの作成にむけて研究をしています。

■広報誌・年報の発行

埋蔵文化財に関する情報、調査研究の成果を紹介しています。



発掘調査の出発式



調査の安全を願っての鍬入式



遺構の掘り方を学ぶ作業員・西谷地遺跡



調査説明会・上荒谷遺跡



この石器
重いわー！

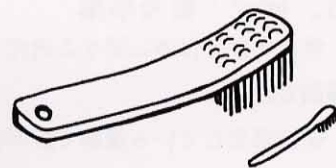


箱を積み上げ
ヨッコラショ！

■各調査遺跡からトラックで遺物がセンターの洗浄室に運ばれます



■遺跡から掘ってきた土器や石器は土が付いたままです歯ブラシのお化けのような馬の毛のブラシで一つ一つ洗っていきます



■乾いたら一点一点に遺跡名、出土地点を面相筆という細い筆で注記していきます



くっつけ！
くっつけ！

■形になる土器を復元します立体のジグソーパズルみたい

■今年は4月から山居遺跡の洗浄・注記・復元作業や、野新田遺跡の報告書作成作業がおこなわれています。主婦アルバイトの方が約100人で、がんばってます！



■特殊モルタルを使用して修復します



■実測図をかきますそのものの形を図面に書き写します

目の神経も細ります
細らないのは…？



■実測図をもとにトレースして印刷原稿を作ります



遺跡トピックス

いまづか 今塚遺跡の焼失家屋

遺跡は山形市の北西部、今塚地区南西側の水田地帯にあります。古墳時代の貴重な木製品などが多数見つかった国指定史跡「嶋遺跡」から北東約800mのところ。今から約1,600年前の古墳時代ははじめのころと、約1,100年前の平安時代ははじめのころの村落跡です。平成5年に発掘調査をしました。

調査区の中央で馬見ヶ崎の旧支流と考えられる河川跡が見つかっています。

平安時代には家や倉庫の跡、井戸跡、水を引くための溝跡などがあります。これらの中からたくさんの土器や木製品が見つかりました。注目されるものとして、「仁寿参年」銘(853年)の年号が書かれた木簡、陰陽道の呪いに使ったような人物を描いた土器、いろいろな文字や記号をしるした墨書土器などがあります。



▲ S T 708土器出土状況

▼ S T 708竪穴建物跡・焼失家屋



壺 高さ65cm

古墳時代では家の跡や畑を耕した時のうねの跡が見つかりました。なかには火災で焼けてしまった家屋が7棟見つかりました。竪穴建物の床の上に炭や焼けた土が残っており、その上から土器がまとまって出てきたところもあります。

またこのような焼失した家屋は、火事のような災害によって焼けてしまったものばかりではないようです。家があるていど解体した段階で意識的に火がつけられ、その後に土器を投げ捨てたようなことも考えられます。

写真の竪穴建物跡からは食物を盛り付けた坏(土師器)や、貯蔵容器の壺などが見つかっています。口の部分に棒状の飾りがタテについた壺は、復元したところ高さが65cmにもなりました。別にもう1点76cmの高さになる壺も見つかっており、この時期で県内では最大級のものです。

(須賀井新人)

ヨーロッパ

欧羅巴紀行

フランス イギリス
仏蘭西・英吉利 編

調査研究員 伊藤 邦弘

去る1994年9月17日から24日までの8日間、パリ～ロンドン～ケンブリッジを旅してきました。

旅の発端は二ヶ月前の7月22日、暑気払い宴の中でした。佐々木調査研究課長（当時）から旅の話がうかがい、スケジュールを見せてもらいました。

「いいですね」

「どうだ、いっしょに行くか」

「いいですね」

それだけの会話で決まりました。事の重大さに気がついたのは酔いが覚めた翌日でした。なにしろ海外どころか飛行機にも乗ったことがなかったわけですから大問題です。しかしあこがれのルーブル、大英博物館、ストーン・ヘンジが頭にちらついて抑制が利きませんでした。こうして欧州への第一歩を踏み出したのは7月25日でした。



ルーブル美術館

わずか八日間の旅でしたが、たくさんの印象が残りました。その中で今回は博物館とストーン・ヘンジについてお話ししたいと思います。

私の見て歩いた博物館は、パリの国立民芸博物館、人類博物館、ロンドンの大英博物館、自然史博物館、ケンブリッジの考古学博物館、人類学博物館、バースのローマ浴場付属の博物館の計七カ所です。

第一印象は平日にもかかわらず人が多いこと、特に子供が多いことです。おどろいたことに大部分が入館無料で写真撮影やスケッチが許されています。そこには熱心にデッサンする画学生タイプの人や、床にはいつくばってスケッチする子供達がありました。一つ一ついいねに子供に教えている父親の姿がありました。無心に、それでいて楽しげに展示説明を読む老夫婦がいました。どれをとってみても今の日本の博物館、美術館ではあまり見られない光景でした。博物館や美術館がごく自然に生活の中に溶け込んでいる、そんな印象を強く受けました。



パリ・シャイヨ宮

次に印象に残ったのが展示の方法です。これらの博物館に共通しているのは、日本の多くの博物館で見られるようなマネキンを使った展示やジオラマ等々の展示方法はあまりとられていないということです。初め違和感がありましたが、見ているうちにぐいぐい引き込まれていきました。そこにあるのは厳然たる事実だけで、一切の想像、推定を省いた展示方法がとられているのです。必ずしもそれが一番良い方法とは限らないでしょうが、日本の展示方法は理解しやすく作られている反面、ある意味ではお仕着せのものになって、見学者から想像力を奪い取っているものもあるように感じられました。博物館の目指すものと見学者が望むもの、各々の難しい課題と思いました。



自然史博物館



ストーン・ヘンジ

ゆるゆるとした平原に忽然とストーン・ヘンジは姿を現しました。ストーン・ヘンジの傍らには一直線に走る道路と駐車場があるだけです。見渡す限りの草原に白く光る石のモニュメントはどしんと根を下ろしていました。駐車場からほどほどの距離があり、回りに比べるものがないせいか、さほど大きさを感じませんでした。しかし一歩また一歩その構築物に近づく度に、大きさは増し、ついには圧倒的な存在感で迫ってきました。しばらくの間ただ呆然と眺め、ふらふらと歩くだけでした。長い年月が経っているにもかかわらず、今まさにその時間の中にいるような錯覚さえ覚えました。



史跡公園

以前は中に入って手で触れることもできたそうですが、近年痛みが目立ってきたためロープから中には入れませんでした。ロープや支柱は軽易なもので、安易に移動が可能なものです。さほど目障りさを感じません。しかも歩道の芝の状態から、時々移動させている様子がうかがえました。また土産物屋や入り口も地階に納められ、地上に突出した建造物はなく、視界を妨げず景観を損ないません。何気ないところに細やかな気配りを感じました。すべてが今回訪れた博物館やストーン・ヘンジの様ではないのですが、ありのままの姿を伝える姿勢に感銘を受けてきました。

最後にこの紙面をお借りし、ケンブリッジでおにぎりと熱い味噌汁でもてなしてくださった小林達雄先生とご家族のみなさま、そしてこの旅行で大変お世話になりました富樫泰時先生に心から感謝申し上げます。すばらしい旅をありがとうございました。



大英博物館



大英博物館



小林先生宅にて

後列左隅筆者



新発見考古速報展'95 開催される!

文化庁ほかの主催による「新発見考古速報展'95」がまもなく山形市で開催されます。毎年全国で1万件近くの埋蔵文化財の発掘調査がおこなわれています。このなかから近年注目された出土文化財を一堂に集め、東京国立博物館をはじめ全国7カ所の博物館美術館で巡回展をおこないます。本県からは「日本最大土偶」(舟形町西ノ前遺跡)が出品されてます。

発掘された遺跡や出土品は、私たちの祖先の衣食住やまじない、信仰、政治、経済について教えてください。50万年前の原人の時代から明治時代の新橋停車場まで、最新の発掘成果の速報展です。また本県の発掘成果も「山形県地域展」であわせて展示されます。

皆さんもこの機会に足を運んで日本の歴史が刻々と書きかえられているを感じとってみてください。

- 期 日：平成7年8月26日(土)～9月17日(日)
- 会 場：山形県立博物館(霞城公園内)
山形市霞城町1番8号
TEL 0236-45-1111



縄文土器

縄文時代の交差点

「うわー」渡戸遺跡に着いたとき、びっくりしました。目の前で工事の機械が「ゴンゴンゴン」と音を響かせていました。それから山口さんの話しを聞きながら遺跡の中を歩きました。

わたしは山口さんの話しを聞いて、不思議に思ったことが一つあります。それは「縄文時代の人は、お祭りです使った縄文土器を、一回使ったら川へどんどん投げてしまいます」ということです。わたしはどうして、そんな白無しなことをしてしまうんだろうと思いました。

次の所に行くと、土の中を掘っているおばさんは、一枚の縄文土器のかけらを見せてくれました。

わたしは「洗ったらどれくらいきれいになりますか」と聞いたら「オレンジ色になるよ」とやさしく教えてくれました。

わたしは、縄文時代の人の顔が見たくなりました。

天童市天童北部小学校
六年 金塚小百合



天童市渡戸遺跡学習会 6月27日

編集後記

■天童市渡戸遺跡の学習会へ取材にいきました。土器の出るたび沸き上がる子供たちの歓声にシャッターチャンスだとばかりにリリース！でもなかなか思うようには撮れません。

■梅雨明けの便りに2号をお届けします。現場の皆さん暑さに負けず発掘調査頑張ってください。(安部)